

障がい傾向のある不登校・ひきこもり支援プロジェクト 報告書

1 経緯

令和5～6年度にかけて行った「発達障がい等の傾向のある不登校児への切れ目のない支援体制整備プロジェクト」では、福祉関係者により不登校児1人1人のニーズに応じた個別の支援を行った。しかし、多数の不登校児に対して福祉関係者のみでそのような個別の支援を行うことは困難であることから、インフォーマルなものも含めた広い意味での社会資源や支援者を把握し、支援に活用することで、より多くの不登校児に対応することが可能になると考えられた。

このため、令和7年度は「障がい傾向のある不登校・ひきこもり支援プロジェクト」として、地域における様々な支援者の把握や情報交換などを行うこととなった。

2 不登校・ひきこもり講演会

まずは地域への課題提起として、不登校・ひきこもり講演会「一歩踏み出した人たちの話を聞こう」を令和8年12月10日（水）に開催した。この講演会では、不登校を経験して現在は支援者として活躍している方や、就労選択支援事業所等で管理者を務めている方を講師に招き、50人もの方々に参加いただくことができた。講師からは自身の体験や経験も含めた貴重な話を伺うことができ、講演会後のアンケートでは「大変よかった」「よかった」との感想が9割以上を占めた。

一歩踏み出した人たちの話を聞こう

不登校・ひきこもり講演会

12月14日(日)

AM 10:00 ~ 11:15 (開場 9:30)

長久手市役所 西庁舎3階研修室



本人ご家族...関心のある方どなたでも

**参加費
無料**
先着50名

二次元コードから
お申し込みください

お申し込み締切

12月10日(水)



講師



中村 弥晃
NAKAMURA
Yasuteru
(一社)GENTEAL



高橋 由樹
TAKAHASHI
Yuki
でじるみ名古屋西

主 催 長久手市障がい者自立支援協議会 障がい傾向のある不登校・ひきこもり支援プロジェクト
問合せ先 長久手市社会福祉協議会(担当:磯部) ☎0561-64-2333 ✉shogaisoudan@hm.aitai.ne.jp

一歩踏み出した人たちの話を聞こう

～不登校・ひきこもり講演会～

どのようにして一歩を踏み出したのかなど
経験や事例を元に講師にお話しいただきます。

学校に行きづらい、部屋から出られない
年齢にかかわらず多くの方が、この問題に悩まれています。

状況や環境は人それぞれでも
そこから一歩踏み出す事は、簡単ではありません。
しかし、その一歩の勇気を私たちは知っています。

踏み出せないでいるご本人、それを支えるご親族、支援者など
不登校やひきこもりに悩み、関心のある皆様が
一歩を踏み出すきっかけとなれるように、この会を開催いたします。

ご本人でも、ご両親でも、関係者でもどなたでもご参加いただけますので
まずは当講演会に一歩踏み出してみませんか？

講師紹介



中村 弥晃 NAKAMURA Yasuteru

一般社団法人 GENTEAL 法人代表理事
知立若者サポートステーション 総括コーディネーター

中学校時代に不登校を経験した元当事者。
現在はその経験を活かし、支援者として活躍中。



高橋 由樹 TAKAHASHI Yuki

就労選択支援事業所・就労継続支援 B 型事業所
でじるみ名古屋西 管理者・サービス管理責任者

「好きを武器に変えてゆけ！」をキャッチフレーズに、
興味のあることへの参加を通じて、
社会と繋がり仕事へ発展させる支援を実施中。

二次元コードの他
お電話、URLからも
お申し込みできます。

☎0561-64-2333

(月曜定休・月曜が祝祭日の場合、翌日が休み)

URL <https://forms.gle/XY9auc12Lv1p7A5s9>



二次元コード

締切 **12月10日(水)**

主 催 長久手市障がい者自立支援協議会 障がい傾向のある不登校・ひきこもり支援プロジェクト
問合せ先 長久手市社会福祉協議会(担当:磯部) ☎0561-64-2333 ✉shogaisoudan@hm.aitai.ne.jp

3 不登校・ひきこもり情報交換会

福祉関係者による支援だけでなく、広い意味での支援者による支援を把握するため、不登校やひきこもりを支援している地域の方々に声をかけて、情報交換会を行った。具体的には、放課後等デイサービス、フリースクール、スポーツ教室、学習塾、カフェ、教育支援センター、スクールソーシャルワーカー、CSWなどに参加してもらい、どのような支援を行っているのかなどお話しいただき、情報交換を行った。

その結果、不登校やひきこもりとの関わり方や支援内容は様々であり、支援者がそれぞれの思いや考えに基づいて、それぞれ異なるアプローチで支援していることが確認できた。

4 まとめ

不登校・ひきこもり講演会では50人もの方々に参加いただくことができ、関心の高さが伺えた。また、参加者の多くは当事者の家族であり、講師の話に熱心に耳を傾けていた。

不登校・ひきこもり情報交換会では、それぞれの支援者によって話される内容や支援の仕方などは異なるものの、どの支援者も熱い思いをもって支援していることが感じられた。

今回のプロジェクトを通じて、不登校やひきこもりへの支援については、福祉関係者のみならず、様々な支援者が、様々な方法で支援していることが改めて確認できた。当事者それぞれが、各自に合った居場所を見つけられるよう、今回得られた知見や支援者との繋がりを、今後の支援に役立てていく。